

目をつむる写真展

滋賀⇔京都 2022

—境界を超えて—

→ 巡回展 Part2 →



“Eyes Closed” Photo Exhibition, Shiga⇔Kyoto, 2022: Beyond boundaries

2022年**6月12日** [日] – **7月8日** [金]

9:00 – 17:00 / 月曜・休

愛荘町立ハーティーセンター秦荘

主催：一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

後援：滋賀県／京都市／京都市教育委員会／京都府社会福祉協議会／
京都新聞社会福祉事業団

助成：公益財団法人倶進会

目をつむる写真展 滋賀⇄京都2022 一境界を超えて一

「目をつむる写真展」は、2015年に京都市山科区でスタートし、これまで京都、静岡で計4回開催し、年齢、性別、国籍、障がいの有無を超えた約2000人の人たちが共に目をつむりました。

そして第5回のテーマは「境界を越えて」。昨年に静岡で開催した「目をつむる写真展2021」でご縁のあった滋賀県東近江市の障がい者支援施設「止揚学園」から撮影が始まり、東近江から滋賀へ、そして京都へと様々な“境界を越えた”つながりの輪を広げていきます。

目をつむると、普段見られない表情が浮かび上がります。そしてその表情から、その人の新たな一面に気づくことができるでしょう。また、目をつむることは寛容を表すメタファーでもあります。さらに、瞑目が祈りに通じるように、その表情は心の目をひらき、自分を見つめ、他者への信頼に満ちています。

目をつむることに思いを巡らせながら、本展を通じて、人との関わりを見直すきっかけになったり、見えない「つながり」を感じたり、新たな「つながり」が生まれることを願っています。



企画：成実 憲一 / Kenichi Narumi

1971年、京都市生まれ。1994年、静岡大学教育学部卒業。一般社団法人ヴァリアスコネクションズ理事長。大学卒業後、アート、写真、福祉が交差する展覧会やワークショップを多数企画。2015年から「目をつむる写真展」を開催(2015・2016・2018・2021)。2017年から障がいのある人たちの社会参加を目的にしたカメラサークル「だれでもカメラ部」を主宰。

日時：2022年6月12日【日】－7月8日【金】 9:00－17:00 / 月曜・休

入場料：無料

会場：愛荘町立ハーティーセンター秦荘（滋賀県愛知郡愛荘町安孫子822）

■これまでの「目をつむる写真展 滋賀⇄京都2022 一境界を超えて一」

【京都国際写真祭サテライトイベントKG+】

2022年4月12日【火】－4月23日【土】

会場：ギャラリー 16

京都市東山区三条通白川橋上ル石泉院町394、3F

【巡回展 Part1】

2022年5月3日【火】－5月8日【日】

会場：kokoka京都市国際交流会館 2F回廊

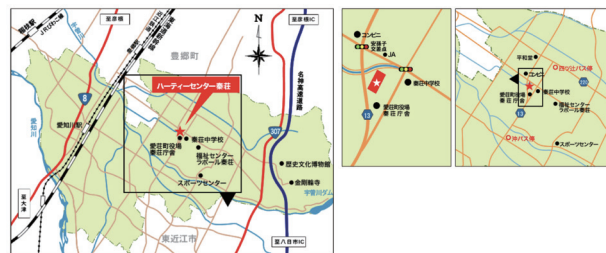
京都市左京区栗田口鳥居町2-1

お問い合わせ：一般社団法人ヴァリアスコネクションズ

〒606-8411 京都市左京区浄土寺東田町67番地1 ジュンビル106

TEL. 075-741-8517 FAX. 075-741-8748

MAIL. info@various-c.com WEB. http://www.various-c.com



【電車・バス】(JR編)

JRびわこ線(東海道本線)「能登川駅」下車、湖国バス(角能線)「市ヶ原行き」に乗り換え、約20分で「沖」停留所下車、徒歩20分

【電車・バス】(近江鉄道編)

JR近江八幡駅もしくはJR彦根駅で近江鉄道に乗り換え、「愛知川駅」下車、湖国バス(角能線)「市ヶ原行き」に乗り換え、約10分で「沖」停留所下車、徒歩20分

【車】名神高速道路「湖東三山SIC(ETC専用)」から国道307号を左折(約200m)、上敷野交差点を右折し4つ目の信号を左折すく(駐車場無料)